



様式第10号(第14条関係)

令和7年6月2日

令和6年度持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井 伸治 様

住 所 鳥取県米子市淀江町中西尾210番地2
団体名 森田救助犬訓練舎
代表者職・氏名 代表 森 田 康 博

令和6年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

1 寄附金受入額 令和6年度合計 64,000円

2 添付書類

- (1) 寄附金活用実績報告書<様式第10号の2>
- (2) 寄附金活用収支決算書<様式第10号の3>

様式第10号の2（第14条関係）

令和6年度寄附金活用実績報告書

事業名	令和6年度持続可能な地域づくり団体支援寄附受け事業
実施期間	令和6年5月9日～令和7年3月31日
事業内容	森田救助犬チーム員の識能向上の為、育成・練成訓練を行ない、災害発生による救助犬出動時の協同連携及び被災地避難所へのセラピードッグ派遣時の行動についてチーム員各位が協同連携し、個別又は組織的活動を行う為の修練を重ねた。 ① 森田救助犬チーム実動員7名による育成・練成訓練 令和6年度森田救助犬チーム養成・練成訓練実施計画に基づきヘルパー訓練、救助訓練、行進訓練、出動準備訓練、倉吉消防署への救助犬活動の紹介及び訓練展示実施 ② 認知症行方不明者の搜索1件実施 3～5名・1頭で延べ4日間 ③ 逸走犬の搜索1件実施 2～4名・2頭で延べ6日間 ④ 鳥取県内外に指定した5名の森田救助犬チーム連絡員への普及及び報告・通報要領訓練(被害想定付与による情報収集)実施 ⑤ 救助犬及びセラピードッグを養護施設、高等学校、小学校、こども園などに派遣し、ボランティアによる触れ合い展示実施 ⑥ 平素の活動内容PRを兼ね各地文化祭に物品販売ブース出展時に広報活動(写真パネル展示・資料配布)及び各種メディアを活用
事業実施の成果・効果(見込み)	① 行方不明者の搜索作業と人命救助活動の先端技術としてのレスキュー訓練に医療関係機能を加え応急処置、心肺蘇生法、搬送法を育成した。 ② 当該自治会関係者、県警鑑識課警察犬指導手、県警機動隊員との連携により生還の原動力となった。 ③ 逸走犬を確認し、保護に至る。 ④ 広域化する被災地の情報獲得を行いつつ、他の救助犬組織に情報提供を行う。(いつ、どこで、行方不明者何名か) ⑤ 訪問施設等からの協力を受け、高校生、小学生等にも広く認識 ⑥ PRによる認知度は徐々に昇り調子

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

様式第10号の3（第14条関係）

令和6年度寄附金活用収支決算書

【収 入】

区 分	金額（円）	内 訳
支援寄附金	64,000円	第2回交付分
その他の寄附金	60,000円	県内外からの寄附受け
日野高校授業謝金	9,339円	出張授業担任（3名・3頭）
地区文化祭物販収益	1,000円	延べ2日間で二つの公民館祭りに出店
貯金利息	11円	
収入 計	143,350円	

【支 出】

区 分	金額（円）	内 訳
広告宣伝費	30,000円	YOU TUBE、X 製作・投稿費
次年度へ	113,350円	令和7年度に繰り越し
支出 計	143,350円	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。